

12月19日環境防災科2年生は消防学校から講師をお招きし、心肺蘇生について講習を受けました。柔剣道場を使用し、6名の



講師の先生方から丁寧な指導を受けました。心肺蘇生の方法や大事なポイント、AEDの使用方法について学びました。誰でもいつでもできるように心肺蘇生についても少しずつやり方や回数などが変わってきていますので、私たちも毎回チェックが必要です。ひとりではできないので、協力して人を助けるためにも、実際の現場では助けを求めることも大切です。万が一の場合に活かせるように何度も繰り返していくことが重要ですからしっかりと覚えておきましょう。環境防災科3年生は、垂水区社会福祉協議会から来られた方々から街頭募金を行う際にできるだけ募金してもらえるようにするための方法を考えようというテーマをいただき、班ごとにワークショップを実施しました。その

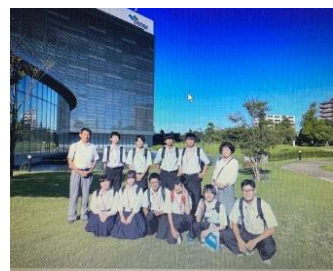


際にリソースカードが配られ、書かれてある内容を生かして解決方法を考える、聞き取りを行うという形でできるだけ多くの考え方ができるようなワークショップでした。出された意見を否定せず、良いところを引き出し、困っている人を助けるといった手法で進めるというルールでした。3年生のまとめとして良い機会だったと思います。それぞれに関わっていただいた方々、本当にありがとうございました。

12月20日は環境防災科1年生が多聞東小学校3年生と安全マップ作りをしました。多聞東小学校校区を歩き、危険な個所や案内看板、防火設備をチェックし、地図に記し、最後は班毎に発表したようです。小学生も刺激を受けたと思いますが、本校生も普段の学びを伝えながら確認ができたと思います。ありがとうございました。



そして普段あまり紹介できていない先進理工類型の学習活動を紹介します。右の2枚は8月に水素CGSスマートコミュニティとシスメックス株式会社を訪問した時の写真です。川崎重工が展開するこれから先の社会の行く末を見据えた事業と規模の大きなプロジェクトを見学、水素の活用について説明を聞き、生徒たちは感動したようです。シスメックスでは医療分野における同社の技術や研究についての説明を聞き、施設を見学し、仕事に対する使命感などを学習できたようです。なかなか平日の授業では行けないことが多く、長期休業中や期末考査後の短縮時間割期間中に施設を訪問することが多く、生徒たちも大変ですが、担当の先生方と一緒に理系分野の学びを深めています。最近では12月15日に関西国際大学保健医療学部に出向き、実際に白衣を着用しての実習に挑みました。患者がベッドから景色が見えるようにベッドを起こしたり、車いすに乗せて散歩したりしてその大変さを実感したようです。講義では災害医療について大規模災害の時に行動リソースについて教えてもらいました。12月21日には兵庫県立大学天文科学センター西はりま天文台から伊藤洋一先生に来ていただき、星座や惑星について学びました。星座を作ろうと題したところでは実際に星座を作って



みて物語や神話を考えようとロマンあふれる内容を展開されていました。このように先進理工類型では、日常の多くの疑問や仕組みを理解するため先生方が内容を考えられ、交渉し、生徒たちの興味関心を満たしてくれています。ありがとうございます。

12月21日は防災学習・避難訓練が行われました。環境防災科防災ジュニアリーダーの生徒が各教室に分れてリーダーシップをとり、説明やワークショップの進行を担当しました。教職員も生徒から学びを得るため会議室に集合し、3年生の生徒の進行でマニュアル確認、



実際の場面での教職員のすべきことなど生徒目線での伝え方で、学び直しをしました。なかなか答えにくい質問もありましたが、自らの学びから一緒に学ぼう、伝えようとする姿勢はものすごく伝わってきたので、私自身も勉強になりました。その後の地震に関する緊急放送も今まで聞いたことがないものだったので、舞子高校の本気度を感じた次第です。避難に関しても速やかに体育館に移動しており、意識の高さも改めて感じました。生徒主体の避難訓練、日頃の成果が感じられとても良かったです。お疲れ様でした。全校集会では、最初に講評があり、その後表彰伝達。税

の作文、読書感想文、天文気象部の表彰をはじめ、水泳部、ハンドボール部、ウエイトリフティング部、アーチェリー部、演劇部の表彰がありました。受賞された皆さんおめでとうございます。

その後生徒会長から先日のSPTC会議の報告がありました。今回は文化祭に加え、休日の体操服登校について試行期間を設けて来年度以降実施に結びつけるというものでした。試行期間は冬期休業中と1月の休日です。試行期間後しばらくは元の制服登校に戻りますが、アンケート結果によって4月以降のことが決まるという話でした。生徒の強い要望もあり、さらに昨年度からの懸案事項で試行期間を設定できていなかったことから、試行期間を経てという話でまとまりました。練習後は汚れ、匂い等を考慮し、そのまま帰るのではなく更衣をして下校という条件もついていました。最後に上村指導部長からは周りのことを考えようという話がありました。苦情がないようにということは勿論ですが、イヤな思いをさせることなく周りを気遣うこともできるようになって欲しいとの思いのこもった話でした。

12月22日は2学期終業式でした。私からは2点お願いをしました。1点目は「何か自分で決めて動き出してくる」ということです。部活動の話を中心にしましたが、大きな目標に結びつけていくために、これならできるかもしれないという身近な目標を自分で考えて動き出すということです。舞子高校の生徒は話を聞く姿勢も素晴らしく、その姿勢ができていればもっともってできることやれることが増えてきて、大きく化けると思っています。そのことに期待をしているという話をしました。2点目は「健康・安全に気をつける」ということです。新型コロナ対応が変わって昨年までと生活も大きく変わってきましたが、感染症対策は各自に任されており、自分を守るということをしっかり考えた行動をして欲しいということと中高生の薬物に関する相談案件が増えていることを挙げ、薬物は絶対だめだという話をしました。安全面は、事故に気をつけるということです。特に自転車に乗る人は歩行者のことを考え、また周りをしっかり見て行動するということをお願いしました。違反者への罰金も検討中ということではありますが、罰金があるから違反しないというのではなく、自らを守るという観点で自転車に乗るときルールも一度検索して確認することをお願いしました。私の話の後にも上村先生からも自転車に関する苦情から自転車登校をしている生徒に注意喚起が行われました。

皆さんがキラキラした顔で、また元気な姿で3学期始業式に登校してくれることを期待しています。冬季休業を良い時間にしてください。

